

信州山学マイスター 養成プログラム

受講生
募集

8/22(金)～ 毎週金曜日 全5回

15:00～16:30・Zoom配信

オンライン講座のため遠方の方でも受講可能です

信州は日本の屋根といわれる多くの山々を擁し、松本市は山岳の都「岳都」と呼ばれています。本プログラムでは、信州の山岳について、自然環境、観光、健康・スポーツ、文化、防災、交通、産業など多様な視点から理解を深め、地域の魅力を再認識し、地域の未来像を考える機会を提供することを目的としています。

本講座3回以上の受講生には「信州山学マイスター養成プログラム修了証」を授与します

受講料

全5回で1万円(税込)

※欠席した場合の返金はありません

申込方法

申込フォーム(QRコード)より、
必要事項を入力しお申し込みください。

※8月17日(日)まで申込み可能



申込みフォーム

学校法人松商学園

松本大学・松商短大

お問い合わせ先 松本大学総務課

〒390-1295 松本市新村2095-1 TEL: 0263-48-7200 E-mail: recu@t.matsu.ac.jp



第1回 8月22日（金） 我ら皆、山の民 ～「山の日」のリアリズム～



目前に当たり前に存在する山が実は日々の生活体験に深く関わっていることを、教育・健康・経済・防災・歴史・政策・言い伝え・文学・環境・サステナビリティ・ウェルネス・メタバース・ジェンダーレスなどとの関連性から捉え直します。

手塚 友恵 氏

公益社団法人日本山岳ガイド協会 理事、公益財団法人全国山の日協議会 理事

第2回 8月29日（金） 山は不動の存在か？～山岳の誕生、成長、消滅のドラマ～



日常感覚では、山は何事にも動じない不動の存在です。しかし山と周囲の平野を踏査していくと、壮大な成り立ちのドラマが見えてきます。いつ誕生し、どのように成長し、いつまで山でいるのか？北アルプスの成り立ちを中心に、50年間の研究成果を紹介します。

原山 智 氏

信州大学 理学部 特任教授

第3回 9月5日（金） 甦れ！神の鳥 雷鳥



日本のライチョウは、最終氷期に日本列島に移り住み、本州中部の高山という世界最南端の地に取り残され、世界で唯一人を恐れない特異な集団ですが、現在数の減少が危惧されています。絶滅した中央アルプスにライチョウを復活させる事業などの取り組みを紹介します。

中村 浩志 氏

一般財団法人中村浩志国際鳥類研究所 代表理事

第4回 9月12日（金） スキーのはなし ～スキーの上手さとは何か～



「山学」スポーツの代表格といえるスキー。その魅力にのめり込み、プロスキーヤーを目指すも早々に挫折し、スキーの研究者となったスキーバカが、「スキーの上手さとは何か」について、スキー科学の観点から、研究の苦悩や山遊びの話を交えて紹介します。

吉田 陽平 氏

松本大学 人間健康学部 スポーツ健康学科 専任講師

第5回 9月19日（金） 火山と共に生きる ―その恵みと災害―



長野県は、浅間山や御嶽山など6つの活火山を抱える全国でも有数の「火山県」です。火山は、美しい景観や温泉などの恵みをもたらす一方で、噴火活動で災害を引き起こすこともあります。火山と共生していくための知識や地域での取り組みについてお話しします。

入江 さやか 氏

松本大学 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 教授